

## 付録:ストレージ機器のインストール方法(サービスエンジニアへ)

ここでは、MPC4000にストレージ機器(ATA対応のハードディスク、CD-ROMドライブ、ZIPドライブなど)を内蔵する場合の装着方法について説明します。

### 付属品を確認する

MPC4000には、ストレージ機器を装着するための器具として、以下のものが同梱されています。欠品がないかどうかをご確認ください。

#### ケーブル類

- ・ ATAドライブ用フラットケーブル
- ・ ドライブ用電源ケーブル(フェライトコアなし)
- ・ ドライブ用電源ケーブル(フェライトコアつき)
- ・ CD-ROM用アナログオーディオケーブル
- ・ CD-ROM用デジタルオーディオケーブル
- ・ ドライブ取付ブラケット(L)
- ・ ドライブ取付ブラケット(S)

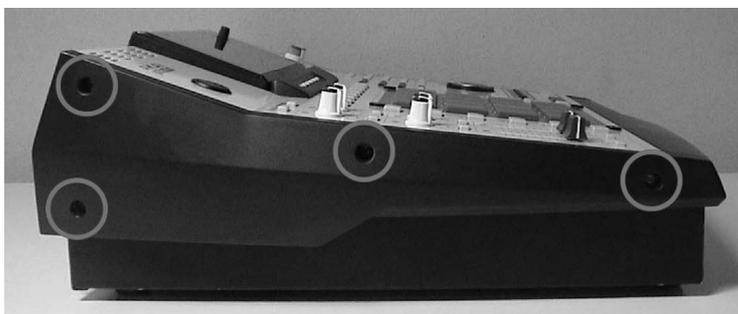
#### その他

- ・ ハードディスク取り付け用インチネジ×4
- ・ ハードディスク取り付け用ミリネジ×4
- ・ ネジ穴目隠し×4
- ・ ドライブ取付ブラケット用ネジ×8

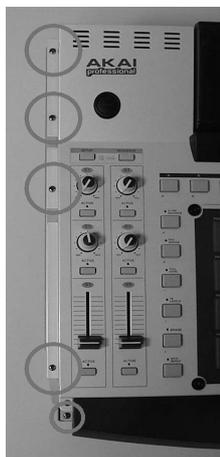
### トップパネルを開ける

ストレージ機器を装着するときは、MPC4000のトップパネルを次の要領で開いてください。

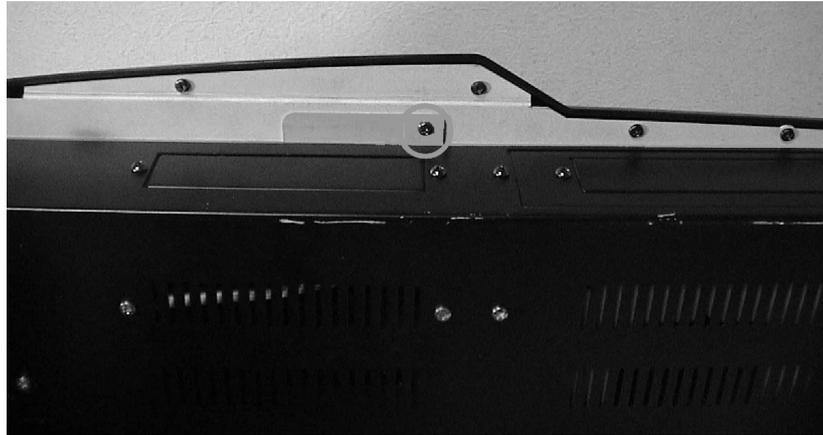
- 1 サイドパネルを止めているネジ(左右4カ所ずつ)をゆるめて、サイドパネルを取り外してください。



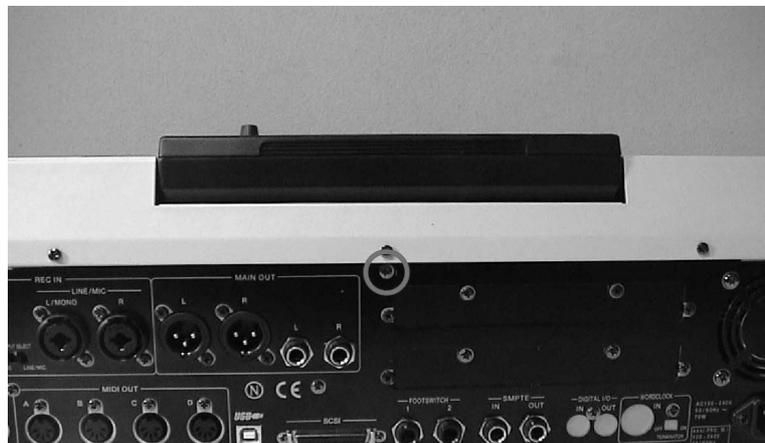
- 2 トップパネルを左右からシャーシに固定しているネジ(左右5カ所ずつ)を取り外してください。



- 3 トップパネルを前面下から固定しているネジ(フロントパネル中央部分)を取り外してください。



- 4 トップパネルを背面から固定しているネジ(リアパネル中央部分)を取り外してください。



- 5 トップパネル手前の突起部分を両手で持ち上げ、トップパネルを開いてください。



- 6 金属棒などをシャーシの内部に立てて、トップパネルを固定してください。

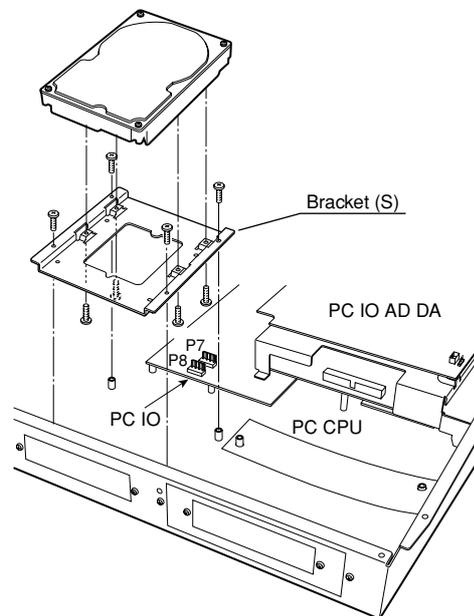


- ・ 取り外したサイドパネルやネジは、安全な場所に保管してください。
- ・ トップパネルを閉じるときは、上記と逆の順番でネジを締めてください。

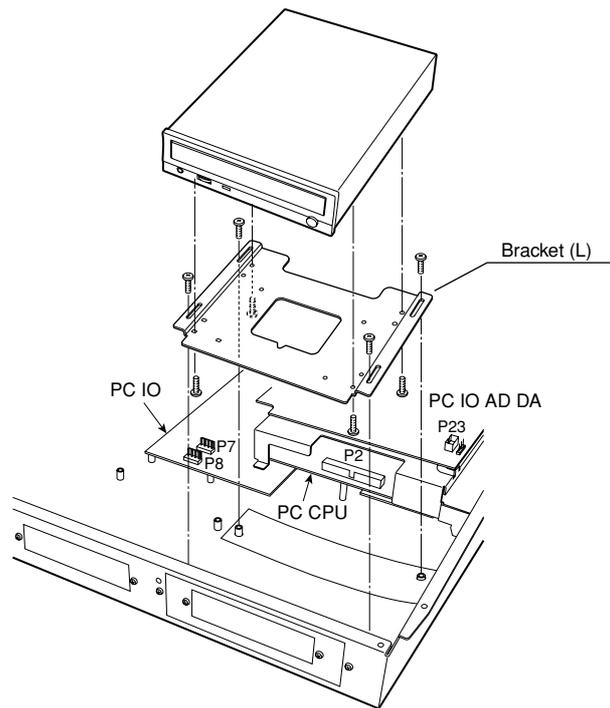
### ドライブの取り付け

- 1 CD-ROM ドライブやZIPドライブなどのリムーバブルドライブを装着するときは、フロントパネルの目隠しパネルを取り外してください。
- 2 付属のハードディスク取り付け用ネジを使ってブラケットにドライブを取り付け、シャーシの底面に固定してください。ブラケットの方向(裏表)は、取り付けるドライブに合わせてください。

3.5インチベイに取り付ける場合



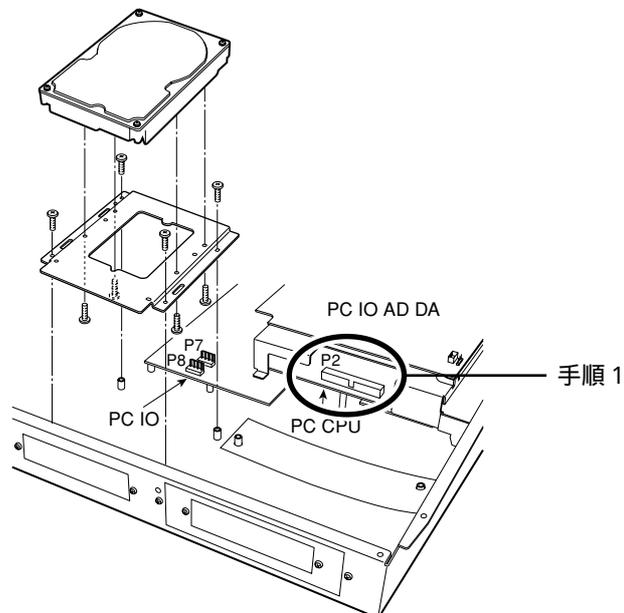
5インチベイに取り付ける場合



## ケーブルの接続

### フラットケーブルの接続

- 1 PC CPU基板の目隠し蓋のネジ2本を外してください。  
蓋を取るとATA用のP2コネクタが見えます。



- 2 付属のフラットケーブルの青いコネクタを、PC CPU基板のP2コネクタに挿し込んでください。
- 3 取り外した蓋を元通りにしてください。
- 4 フラットケーブルのもう片側のコネクタをドライブに接続してください。

## 電源ケーブルの接続

- 1 付属の電源ケーブルのコネクターを、PC IO基板のP7コネクターまたはP8コネクターに挿し込んでください。  
HDを内蔵するときはフェライトコア付きの電源ケーブル、ZIPドライブやCD-ROMドライブを内蔵するときはフェライトコアなしの電源ケーブルをご使用ください。
- 2 電源ケーブルのもう片方のコネクターをドライブに接続してください。

## CD-ROM用アナログオーディオケーブルの接続

CD-ROMドライブにアナログオーディオ出力端子があるときは、以下の要領でMPC4000の基板と接続してください。

- 1 付属のCD-ROM用アナログオーディオケーブルのコネクターを、PC IO A DDA 基板のP23コネクターに挿し込んでください。
- 2 CD-ROM用アナログオーディオケーブルのもう一方のコネクターをCD-ROMのアナログオーディオ出力端子に挿し込んでください  
赤いケーブルがR(右チャンネル)、白いケーブルがL(左チャンネル)になるように接続してください。
- 3 PC IO A DDA 基板のP22ジャンパー(P23の手前にあります)を「SET」に合わせて挿し込んでください。

## CD-ROM用デジタルオーディオケーブルの接続

MPC4000にデジタルIOオプションIB-4Dが装着されているときは、CD-ROMドライブのデジタルオーディオ出力端子とIB-4Dを、次の要領で接続してください。

- 1 付属のCD-ROM用デジタルオーディオケーブルのコネクターを、CD-ROMのデジタルオーディオ出力端子に挿し込んでください。  
黒いケーブルがグラウンド側になるように接続してください。
- 2 CD-ROM用デジタルオーディオケーブルのもう一方のコネクターを、デジタルIOオプションIB-4DのP1コネクターに挿し込んでください。
- 3 IB-4Dの基板にあるJP1ジャンパーを1-2(SHORT)に合わせて挿し込んでください。  
アナログ/デジタルオーディオケーブルを接続してジャンパーを設定すれば、RECORDモードでCD-ROMの再生音を録音ソースとして選択できます。

## ATAドライブのマスター/スレーブ設定

2台のドライブを内蔵する場合は、1台をマスター、もう1台をスレーブに設定する必要があります(ハードディスクを内蔵する場合は、ハードディスクをマスターに設定します)。  
マスター/スレーブ設定の設定方法については、ドライブに付属の説明書をご参照ください。

## メモリーの取り付け

メモリーボード用のスロットはCPU基板上にあり、本体右側の後方に2個の長いDIMMソケットが見えます。

メモリーボードの方向を合わせてスロットに確実に差し込みます。メモリーボードを1枚追加する場合は、左右どちらのスロットを使っても構いません。

メモリーは168ピンDIMM(PC133/PC100, CL2)を使います。

256Mbit×8タイプのDIMMは対応していません。128Mbit×16タイプ使用をお勧めします。